

# サスラバーカンパニー CSRレポート

**事業内容:** 自動車用ホース、ゴム窓枠用シール材、工業用型ゴム部品の生産・販売  
**敷地面積:** 86,700m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 83人 (2011年12月末現在)  
**所在地:** 474 Newell Street, Painesville, OH 44077, USA  
**相談・苦情などの受付窓口:** +1-440-352-3321



## 社長ご挨拶



谷村 博史

サスラバーは1937年に創業し、1992年に横浜ゴムのグループ会社になり、インダストリアル部門とホース部門を有しています。インダストリアル部門では、異形押し出しおよび加工技術による大量輸送向けの窓枠用ガスケット、ドアエッジ、シール材などを製造し、大手のバス、車両会社に納入しています。特に最近の環境問題への解決策として大量輸送システムが見直される気運からこれらの需要が拡大することが期待されます。ホース部門では自動車用パワーステアリングおよびエアコン用ホースを製造し、トヨタなどの日系自動車メーカーやGMなどのデトロイト3 (ビッグ3) に納入しています。環境マネジメントシステムISO14001は、2007年12月に取得しました。2006年から始めた省エネプロジェクトも継続的な活動として定着し、工場用水では、クローズドシステム化による再利用、ガスではボイラーのプリヒーティング、蒸気漏れ修理、蒸気配管の保温等による効率アップ、電力では不要時の機械停止、省エネ電球への転換等で大きなエネルギー削減を達成してきました。ゼロエミッションについて見ると米国は、日本に比べるとかなり遅れていて今までは、ほとんどの産業廃棄物は埋立てでした。今年からリサイクル率を向上させゼロエミッションを達成させるた

めのプロジェクトを開始しました。地域の一員としては、グリーンウェーブ活動の一環として2009年、2010年と地元の小学校に対し植樹支援のために樹木の寄付を行ってきました。さらに、2011年は横浜ゴム千年の杜プロジェクト活動として、6月4日にサスラバーの敷地内に従業員とその家族、地域の関係者によって約600本の植樹を行いました。植えられた苗は、冬の寒さに耐えてしっかりと成長しています。そして、今年は地元Painesville市の環境事業に支援をする意味から市の中心と住民の憩いの場所であるKiwanis Recreation Parkに樹木の寄付を行いました。また、同時に日系企業の一員として当地の日本人会の桜植樹活動 (1996年から続いているもので今年、外務大臣から表彰をうけた活動) に植樹のための寄付も行っています。サスラバーは、横浜ゴムのGD100のスローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるために、このような環境保全活動を全従業員が一丸となって進めていきます。

## 環境経営の推進

### 環境マネジメント

#### 環境方針

- (1) すべての活動分野で環境に配慮した施策に取り組みます。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築・強化し、継続的な改良活動と最新の技術、コスト効率の高い解決策によって環境汚染の防止に努めます。
- (3) 法律や直轄機関の定める要求、その他の環境規則に従います。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクル、再利用などを通じて汚染防止目標を設定し、天然資源の保護に努めます。
- (5) 省エネルギー活動、エネルギー効率の改善、再利用できるエネルギー源の優先使用などを通じて、エネルギーの有効活用に努めます。
- (6) 環境保全に貢献し、従業員の教育と訓練計画などの環境情報を提供します。
- (7) ビジネスプロセスの継続的改善に努め、環境マネジメントシステムによって環境目標を設定し、年一回見直しを行います。

### 環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
廃棄物発生量(t)	309	178	143	109	
埋立率(%)	74.0	66.7	90.5	98.2	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	1,261	912	986	873
	燃料	615	498	493	427
	合計	1,876	1,410	1,480	1,300
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	3.9	2.9	3.1	2.7	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	7.0	3.4	3.9	3.4	

※年度: 1月~12月  
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用した。

## 安全健康な職場環境

### 安全基本方針

安全は、すべてに優先する項目として位置付けており、3Sを基本としています。また、危険域には入れない、機械稼働中は、手が出せない対策を実施し安全度の向上を図っています。安全に対する意識の向上を図

るために、従業員全員を対象とした安全意識教育を計画し、今年も3月に実施しました。

## 取引先との信頼関係

### 安全基本方針

SAS Rubberは、単なるサプライヤーではなく、顧客に信頼されるパートナーであることをモットーとして、常に顧客が抱えるすべての問題の

解決に取り組んでいます。

## ステークホルダーコミュニケーション

### 地元学校への環境教育支援

2011年は、サスラー近隣のペインズビル メイプル小学校へ植樹支援として樹木を寄付しました。



2011年は、グリーンウェブの一環として、同様にチェスナッツ小学校に樹木を寄付しました。



2012年には、地元Painesville市と当地の日本人会(JANO)にそれぞれ苗木を寄付しました。



2011年は、横浜ゴム千年の杜の一員として約600本を植樹しました。

